



湊江中学校だより

平成31年度

第1号

4月25日(木)

教育目標 : 『よく考え 自ら学ぶ人』・『正しく判断し 実行する人』
『礼儀正しく 情操豊かな人』・『心身ともに健康な人』



湊江中HP

入学おめでとう！

本年度4月に足立区立東島根中学校から転入しました。校長の「井原 武彦」と申します。

湊江中学校の発展のため、生徒・保護者・地域等のため、職務に精励して参ります。今まで同様、教育活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、4月9日、新たに181名の新入生を迎え、入学式を挙げていたしました。

式辞の一部を紹介いたします。

新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。この湊江中の仲間として皆さんを迎えたことを、心から嬉しく思っています。これから互いに切磋琢磨し、一人一人が成長し、より良い学校を築いていきましょう。

さて、皆さんは小学校を卒業し、中学生になりました。いよいよ義務教育の最終段階にさしかかったということです。

あと3年たてば、皆さんは義務教育を修了します。言葉を換えれば、社会人になるのです。社会人として生活していく力を完成していくのが、中学校生活だ、とも言えるのです。

では、社会人としての資質とは、何でしょうか。様々な考えがある中で、私は、まず第一に、「自立」する力を挙げたいと思います。「自立」とは「自ら立つ」こと。自分のことは自分

でやる。人に迷惑をかけない。我が儘を言わない。困っている人がいれば助け



てあげる。世の中の役に立つことができる。それが「自立」です。皆さんが、自立した社会人として、世の中を生き抜いていく力を身に付けられるように、一緒に頑張っていきましょう。

さて、しばらく前からよく聞かれるようになったのが、「中一ギャップ」という言葉です。これは、小学生から中学生になった時、様々な問題が起こってしまい、生徒が学校に適応できなくなってしまうことを指す言葉です。

この中一ギャップを防ぐために、小学校でも中学校でも様々な工夫や取組が行われています。もちろん本校でも、皆さんが中学校生活にスムーズに慣れていけるように、丁寧に取り組んでいきます。

しかし私は、人間が成長するためには、高い壁も必要だと考えています。そしてその壁を、自らの力で乗り越えていくことも必要だと考えています。

(裏面に続く)

中学生になって、今までにないことを求められることがあります。今まで許されていたことが、許されないこともあります。それは、社会の厳しさに負けないためのトレーニングなのです。もちろん、自分にとって高すぎる壁であれば、助けを求めてください。それは恥ずかしいことではありません。しかし、自分で越えられる壁は、自らの力で越えていきましょう。それが成長するということです。

皆さんには、これからの3年間を通して、真の「大人」として「社会人」として、「自立」した人間になって欲しいと切に願っています。

そして、その為の指針が、本校の教育目標に示されています。

- よく考え自ら学ぶ
- 正しく判断し実行する
- 礼儀正しく情操豊か
- 心身ともに健康

すべてが、自立するために大切なことです。

この教育目標の大切さについては、これからの中学校生活の中でじっくり考えていきましょう。そして、皆さんの中学校生活が、充実した素晴らしいものとなり、皆さんが「社会人として」大きく成長することを心から期待しています。

◇ 転出入職員等紹介

【転出教職員】

本杉 貴保（校長）

江戸川区立篠崎第二中学校へ

志手 伸圭（美術）

練馬区立石神井中学校へ

稲葉 剛（理科）

江戸川区立小松川第三中学校へ

長嶋 昌子（英語）

江戸川区立南葛西第二中学校へ

佐藤 精一（保体）

江戸川区立鹿骨中学校へ

西田 千恵子（家庭）

台東区立上野中学校へ

春山 瑞己（英語）

江東区立深川第六中学校へ

【任期終了】

山口 晃平（生活指導員）

大塚 ひろみ（事務補助）

早乙女 広美（事務補助）

鈴木 恭子（図書館支援員）

河野 豊子（美術科講師）

【休職等】

小野寺 美希（国語）

藏屋 明子（音楽）

【転入教職員】

井原 武彦（校長）

足立区立東島根中学校より

三川 みき（美術）

武蔵村山市立第五中学校より

高橋 香織（英語）

墨田区立吾妻立花中学校より

水落 悠生（理科） 新規採用

山口 ひかり（家庭） 新規採用

福田 正樹（保体） 新規採用

山本 涼太郎（国語） 新規採用

安松 大成（生活指導員） 新規採用

石川 智子（事務補助）

小林 礼子（事務補助）

